

## 幕末明治の写真師列伝 第四百十五回 宮下欽 その六十三

明治40年(1907)9月28日、宮下欽の後妻・イウドキヤミ乃が亡くなる。(嘉永2年[1849]5月12日生まれ。享年58)イウドキヤミ乃は、当時の名古屋教会の熱心な信徒であった。

イウドキヤミ乃は、最初、名古屋の八事霊園内にある名古屋ハリストス正教会が借地した墓地内にあった旧宮下家の墓に埋葬されたが、後に八事霊園内の納骨堂に移された。(また、後に宮下欽以降の新しい宮下家の墓は他の親族の墓も含めて東京の雑司ヶ谷霊園(1種17号13側2番。正確に言えば大正8年[1919]10月2日に守雄の息子欣一が亡くなり10月26日に最初に埋葬され、宮下欽は三日後の大正8年10月5日に埋葬された)に作られたが、さらにそれらも平成29年[2017]11月16日に改葬されて、今は小平霊園の合葬式墓地にある)

(森重和雄)



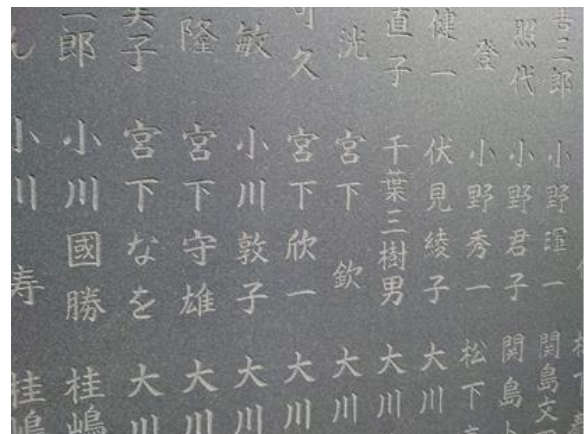
旧宮下家の墓(但し、名古屋の八事霊園内にある名古屋ハリストス正教会が借地した区画かどうかは不明)



現在の八事霊園内の納骨堂



雑司ヶ谷霊園にかつてあった宮下家の墓



小平霊園の合葬式墓地25番墓碑